THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2014-2015)

国　際 主題　:"Talk Less,Do More"“言葉より行動を”
ア ジ ア主題　:"Start Future Now"“未来を始めよう、今すぐに”
西日本区主題　:“響き合い、ともに歩む”
中 西 部主題　:"YMCA ・ワイズ共に、社会に光を”
ク ラ ブ主題　:“ワイズへ女性の視点を！”

第 213 号
2014 年 10 月

聖書のことば

明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。 その日の苦労は、 その日だけで十分である。　（マタイによる福音書６章34節）

‖ @　　‖ @ ŽÒ@原　頼子

選者のことば

玉岡かおる著『負けんとき　ヴォーリズ満喜子の種まく日々』に書かれていた、ウィリアム・メレル・ヴォーリズの愛唱句です。

先のことを思い悩む日々に、この聖句は気持ちを楽にさせ、助けられました。今日のことは今日だけにしておかないと、明日はまた明日の悩みが出るから「今日はこれくらいにしとこっ」と、どこかで聞いたことばが浮かびました。

10月第１例会プログラム

日時 ： 2014 年10月8日（水） 19：00～21：00
受付開始　18：30
場所 ： ANA クラウンプラザホテル京都
会費 ： 4,000 円

DBC 交流例会です。 京都トゥービークラブのみなさんと楽しいひと時を過ごしましょう。

開始時間変更に注意してください。

９月例会報告

「助けて」と言える豊かさ

江見　淑子

「昨日のお月さま見た？」 「スーパームーンですって？」 雨被害が続く中、 久しぶりの清々しい夕刻でした。 なかのしま例会の開会点鐘が響き、 銀杏と赤とんぼで飾られた秋いっぱいのお弁当をいただきました。

今日の卓話は、 元なかのしまチャーターメンバーである大谷せつ子さんです。 NPO 法人 「女性と子ども支援センター」ウイメンズネット ・ こうべに関わって８年、 電話相談やシェルターの仕事を通して「大谷さんに手渡されたこと」を話してくださいました。

ご自分の痛みを丁寧にほぐし、 保育という仕事と向き合ってきた中で立ち現れたことが 「子どもと女性の貧困」 という言葉に凝縮されているのでしょう。 よく整理されたレジュメに従ってDV とは何か、 シェルターの仕事、 親も子も安心して夢を持つようになるには……を聞きました。

活動を共にしている茂木美知子さんから支援方法についての案内もありました。 WACCA （ワッカ） という居場所を作ったこと、 活動内容の紹介は実に軽やかでした。 夢のあるイラストには大きな力がありました。 学習支援を担う若者の様子、 支援する者・される者が一緒に歓びあうことの大切さが映し出されていました。

ここ数十年でしょうか、 自己責任という言葉が広がりました。 さまざまな格差の原因を見ないで、 裁くことによって平気でいようとする風潮です。 「どうぞ末永いお付き合いを」 とお話は締めくくられました。 困難の原因は様々でも 「助けて」 と言えない人間関係の貧困に行き着きます。 重いけれど、 みんなで担えば明るい。 私たちは微力だけど、 無力ではないという言葉をかみしめて帰途につきました。

９　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		BF　統計			
メンバー	16名	出席者	16名	日本	200ｇ	累計	2023ｇ
ビジター	3名	メイキャップ	1名	外国	60ｇ	累計	419ｇ
ゲスト	1名	合　計	17名	現金	円	累計	円
コメット	1名	在籍者	18名	提供者 ： 今井、 江見、 国友、 桑原、 杉浦、 武井、 藤好、 保田、 吉田、 渡辺			
合　計	22名	出席率	94%				

西日本区大会アピール　部会訪問記

中部部会　〈8月31日（土）〉

江見　淑子

部会のトップバッターは中部部会。四日市都ホテルで行われました。 区大会をこなした実力でしょう、 150名規模の集まりです。 名古屋らしい元気なバンドや日舞のもてなしを受け、 旧交を温めながら第18回西日本区大会をアピールしてきました。

講演は自衛隊３等陸佐 ・ 小田浩次氏の 「東日本大震災に学ぶ」 として、 災害に備える覚悟を呼び掛けるものでした。 自衛隊の記録映像は隊員の力強さが際立っていました。 昨今防災意識は進み、 いざという時の救援対策も考えられています。 しかし私たちが当事者になったときの備えに自信はありません。 身近にある救援活動を進んで負うことが 「備え」 に繋がるのかもしれません。 中西部からの参加者18名、 よく働きました！

六甲部部会　〈9月6日（土）〉

保田　圭子

関西学院同窓会会館で開かれました。 緑一杯の学校、気持ちのいい環境の中で、 第１部はバナーセレモニーをはじめ部会のセレモニーと、 武田健先生の講演。 軽妙洒脱という言葉がうかぶ、 お人柄と楽しいお話。 ふんわりとした気分になったところで、 第2部の懇親会。 食事の合間に飴を配り、 「西日本区大会へ是非！」 と、アピールしたのですが六甲部の方は 「飴はもうもらった」 「西日本区大会にはいくよ」 というようなお返事で……。 まぁ、 期待しましょう。 どこの部も工夫をこらした部会をやっていらっしゃるなぁ、 という感想です。 これがワイズのいいとこ？　六甲部会は関西風のオシャレな雰囲気という感じの会でした。

阪和部部会　〈9月13日（土）〉

吉岡　香代子

午後12時より和歌山YMCAで第26回阪和部会が、約130名の参加で開催された。 バナーセレモニーから始まり、 来賓と部長の挨拶があった後、 かわいくて美しいお弁当をいただいた。 続いて、 各主任 ・ 主査 ・ 連絡主事 （大阪 ・ 奈良 ・ 和歌山） の事業方針と各クラブ会長による活動報告がされた。 そして、 今年度のメネット事業 ・ 国内プロジェクト 「希少難病」 について学んだ。 一般社団法人UNIVERSAL FIELD ・ 代表理事 小泉二郎氏と副代表理事 中岡亜季氏が 「希少難病の現状と支援」 について話された。 自分にかかわりがないから知らないではなく、 一緒に旅行やイベントに参加して関わりを持ってほしいと熱く！　熱く！　話された。 私がどんな形でお手伝い出来るかな？と思った。

京都部部会　〈9月14日（日）〉

藤好　基子

秋晴れの３連休真っ只中、 京都部会は467名のメン、 メネット、 コメットが笑顔で集まりました。 （我がクラブからコメットも含め13名参加） 来年6月開催の西日本区大会のアピールもありましたが、 DBCの京都トゥービークラブさんがホストを務められている京都

部会、 仲間として喜んで参加させていただきました。 畑本京都部長の主題は 『行雲流水』 ＝雲は悠然と浮かび、留まることがなく、 水は絶えることなくさらさらとして流れ、 一処にとどまることがない。 心は常にその一処にとどまらず、 執着せず、 おおらかに雲や水の如く無心にして淡々と、 爽やかに生きる＝という意味です。 開会点鐘忘れも、 挨拶も畑本メンらしく、 堅苦しい部会を笑顔にしてくださいました。

中西部合同メネット会　〈9月20日（土）〉

今井　利子

部会に先立ってのメネット会、 ワイズメンズクラブの始祖である大阪クラブのホストである。 日本各地から集った62名にはメンも多かった。

今年の主題は西村寛子主任の 「希少難病を知り、 研究を支援する」 というもの。 「遠位型ミオパチー」 で闘病中の中岡亜希さんは 「長期の闘病は覚悟のこと、 患者は楽しんでいるか」 と言う運動を立ち上げられ、 美人で明るい。 障害者も健常者も外に出て行けるのが当たり前の世の中になるようにと話された。 今の自分を肯定して前進、はほんとうに立派なこと。 小泉二郎さんは稀少難病の研究への支援をアピールされ、 二人の後援者に拍手を送った。

中西部部会　〈9月20日（土）〉

国友　朝子

秋晴れの午後、 大阪キャッスルホテルにおいて第18回中西部部会が大阪クラブのホストにより開催された。 出席者は、 西日本区各地より大勢の参加があって総勢156名。

第１部式典ののち、 各事業主査と各会長の活動報告がなされた。 各自とても熱心なアピールぶりであった。

その後第３部のソプラノ独唱があり、 第４部では淀川キリスト教病院理事長であり名誉ホスピス長でもある柏木哲夫先生の 「いのちに寄り添う」 と題しての講演を拝聴した。 生と死の話ながら関西人のやわらかな語り口なので重くはなく、 そこはかとないユーモアさえ醸し出されていた。 背中に当てられた人の手のぬくもりを思い出す時間だった。

びわこ部部会　〈9月21日（日）〉

吉田　由美

窓の外には空の青さを映す美しい琵琶湖。 大安の９月21日、 何組もの新郎新婦とすれ違う大津プリンスホテルに全国から130名以上のワイズメンが集結し、 第19回びわこ部会が開催されました。

第２部の講演会では 『まるごと地域防災―地域のさまざまな力を防災に』 のテーマで、 災害ボランティア活動から 「共助」 の必要性と地域防災ボランティアの取り組み

仲間とともに

今井　利子

3　河内長野市民としての60年
――風光明媚な郷土を持つ幸せ

「郷土を持つことは幸せなことである。それは人生の出発であるとともに、心の遍歴の後の終着点といえよう。」と、河内長野市郷土研究会誌の発刊第１号当時の会長の発刊のことばである。昭和43年８月であった。

郷土研究会はその５年前に市史編纂を目的として組織された会であるが、研究が目的だけに学者や学識者、郷土歴史家などの集まりで、後に正式に委員会が発足した。その後、純粋に市内における歴史、地理、民俗などについて研究する会として市史に載せられていない事例を独自の調整で研究し、会誌上で発表し続けているのが「河内長野市郷土研究会」である。

発足後40周年記念誌に「高野街道ー河内長野を中心にしてー」を発刊した。平成１０年である。企画、資料集め（発行済み会誌の原稿から）、関係部署への発行認可、お許し、執筆、校正、広告集め、と編集委員の一人として３年かけて完成を見る。（かなりいいものと自画自賛）以来、高野街道ブームで関心を集めた。

私は、創立数年後に入会し、市内の有名神社仏閣を訪ね宝物を観察したり、隠れた遺跡を調べたり、専門家の講話を聞いたり、随分学ばせて頂いた。古い村の小さな祠の中から銅板の「押出仏」を発見、会長と共に陽の下にお引き出ししたり、山の中、林の中の経塚を求め役行者の歩いた足跡をたどり、鳥地獄を珍しく覗き込んだのも何年前のことか？　第２の郷土を持つことの幸せ、そして少しづつ昔の生活を知ることの楽しみを味わいつつ、その後１０年経過し、会誌50号発行を記念して「交通・産業とくらし～河内長野を中心にして～」を発行させて頂いた。平成20年12月である。

かなりくわしく河内長野の事柄を発表しているが、まだまだ市民でもあまり知らない、知らされていない生活、行事も多くあるはず。こうした隠れた史実を発掘し発表していかねばと、歳を重ね動きの悪くなった私でも、まだまだ思いは強く持ち続けている。この会から分かれて「郷土を知ろう会」（歴史）「植薬草の会」（植物）「野鳥の会」を結成して、１つは観光協会をバックに観光案内所で大活躍し、他は更に専門的にハイキングで植物観察や写真展に発展を続け、健康で学ぶ市民として歩んでいる。

について、具体的事例を交えながら、美人の関西学院大学准教授・松田曜子先生のお話しをお聞きしました。来年20年になる阪神淡路大震災の時に始まった組織的な災害ボランティア活動。災害を予防する為の防災ボランティア活動が、防災意識の高まりと同時に地域の絆も築いていく事を教えられ、私達の活動のヒントとなるのではないかと思いました。

〈閑話休題〉

桑原　頼子

突然ですが、本は好きですか？　買うときはどのように選びますか？　読むときに選ぶ基準はなんですか？　そんなことではなくて「ただ読む」だけでいいのですが……。

文庫本はいかがですか？　軽くて持ち運びに便利ですね。出かけるときには必ず１冊バッグに入れます。もう少しで読み終わる場合、帰りはどうしようと思ったら落ち着きません。別の文庫にしようか、でも早く最後まで読みたい。葛藤の末、２冊を持つことにします。重い。軽い文庫でも持ち重りします。本を重く感じるようになったのはいつの頃からでしょう。若い頃は、重さを考えず何百頁もの上製本や装丁が気に入って買った本など２、３冊持ち歩いていたものです。

文庫本のいいところは、寝転んで読むのにいい（グータラにはもってこい）、文庫用に改訂されている、後書き・解説もついてくる（解説は不要だと思うときもあれば、書いている人が気に入って楽しめるのもある）、他の著書の宣伝（あらすじも書かれている）がついている（その著者以外のも）、などなどおまけがついてくるので結構お得です。

今、文庫化されるのを待ちわびているのがあります。楽しみですね。文庫っていいですね～。

９月第２例会報告抄

日　時：2014年9月17日（水）18:30～20:30
場　所：大阪YMCA　504号室
出席者：15名

１. 会計報告
- メネット事業支援金　国内、国際に各5,000円ずつ支出。
- 土佐堀カーニバル協賛金10,000円支出。
- ニコニコよりチャリティラン２チーム支援金60,000円支出。

２. チャリティランには表現コミュニケーション学科と保育園の２チームを支援することになった。
3. チャリティランでは当日の景品配りを担当する。
4. 土佐堀カーニバルでは当日は食器準備、販売、ゴミ箱点検等、衛生管理を担当する。
5. 11月例会の会場設営の件をホテルと交渉する。

《《《《《《　お知らせ　》》》》》》

◎大谷節子さん（元メンバー）からBF使用済み切手をいただきました。感謝。

◇10月お誕生日の方◇ *Happy Birthday*
吉田　由美　　7日

ニコニコ献金　9月　23,030円

《ニコニコメッセージ》 －9月例会－

☆今日はお招きにあずかり、 有難うございます。 年月がよみがえってきます。 なかのしまのご活躍をお祈りしております。 ウィメンズのことよろしくお願いいたします。 （ゲストスピーカー ： 大谷節子）

☆本日はお招きいただきありがとうございました。 到着早々パソコンを忘れてしまったことに気づき、 ご迷惑おかけしました。 にもかかわらず、 すみやかに対応して下さり感謝しております。 （ゲストスピーカー ： 茂木美知子）

☆久し振りに出席させていただきました。 いつもパワーをいっぱいいただいております。 また今日は、 楽しみにお話を聞かせていただき、 一段と輝きたいと思っております。 （大阪セントラルクラブ ： 入江政江）

☆朝晩は寒くなり、 窓を閉める程です。 食欲の秋、 私にはダイエットの秋です。 シュン。 （東京クラブ ： 上原玉音）

☆いつもながら、 はなやかな雰囲気で“なかのしま”ならではの明るい集い。 それでいて、 現在社会の問題を感じさせられるひとときでした。 （大阪センテニアルクラブ ： 山田孝彦）

☆大谷さんの卓話をうかがって、 少しでもシェルターに入られている方のお役に立てたらと思いました。 （生雲）

☆中秋の名月を京都の妙心寺で鑑賞しました。 太陽の黒点は恐いようで京大花山天文台はきびしいです、 との話を聞きに行ってました。 今日もまた心にひびくお話をありがとうございます。 自分の一回り外を見つめ直します。 （今井）

☆忘れないように記しておきましょう。 8月25日箕面の集中豪雨で床上浸水しました！ 日常の生活はできるようになり、 めげていません。 （江見）

☆私の若い時代も、 そして今も身近にある女性問題の“痛み”を考えることができました。 大切な活動をされていらっしゃる大谷さんにお目にかかれてほんとに良かったです。 （大岸）

☆「安心、 安全」という言葉、 久しぶりにしみじみ感じました。 また、 若い人たちの働きを知って希望的な温かい気持ちになりました。 何かお手伝いがしたいと思います。 （国友）

☆雲一つない空に十五夜のお月さん、 綺麗でしたね～。 他の星も輝いて美しく清々しい夜空でした。 （桑原）

☆チャーターメンバーでもある大谷さんのお話楽しみです。 共に大事なことを考えることが出来たら、 いいなあと思います。 （杉浦）

☆子どもと女性を守る大谷さんの活動のお話しを伺うことができて良かったです。 感謝！ （高橋）

☆例会後、 電車を降りた途端すごい雷雨！ 車を駅前の駐車場にとめていましたが、 全身ずぶねれになりました。 美帆いわく、 神さまが怒っていると……。 （武井和子）

☆あしたのジャムづくり、 たのしみです。 （武井美帆）

☆いろんな災害がおきていた8月から、 うってかわってさわやかな9月へ……。 年末まで、 おだやかに過ごせますように。 （鳥居）

☆恒例の2年に1回だけお会いする友人に、 京都で会いました。 しゃべることしゃべること……。 呆れるほど、 ずーっとお喋りに花が咲きました。 家族のことだけなのに、 話は途切れませんでした。 36年間、 続いている友は宝です。 クラブを継続している人も、 事情があって辞めた方も宝ですね。 大谷さん、 ありがとう。 （藤好）

☆大谷せつ子さんから女性と子どもの支援をしておられるお話を聞かせていただきました。 いろんなことを知ることができ、 ありがとうございました。 （松下）

☆随分朝夕が涼しくなり、 食欲 ・ スポーツ ・ 読書が進み、 体重も増して肥り過ぎに注意！ （吉岡）

☆昔の家のことを思い出しました。 女性がほとんど（1名だけ男性）の例会で、 女性のこと、 DVをする男性のこと、 いろいろ考えさせられました。 （保田）

☆9月の各部会行脚は沢山の方々との出会いと交わりの時間を作ってくれました。 これからのワイズ活動がますます楽しくなりそうです。 （吉田）

☆あっという間の9月例会です。 ドキドキわくわくの例会をよき思い出としたいです。 （渡辺）

欠席者メッセージ

★日本中いや世界中に錦織　圭選手の名前が飛び交いました。 テニスにおいても勇気と楽しさ諦めない気持を持つことができました。 （藤井）

◆ YMCAニュース ◆

メダリスト朝原宣治氏講演会

日時 ： 10月4日 （土） 午後1時30分～4時
場所 ： 大阪YMCA会館 （土佐堀） 2階ホール
申込 ： YMCA学院高等学校 （天王寺）
TEL 06－6779－5690

高校時代から陸上競技に本格的に取り組みはじめた朝原氏。大阪ガス㈱に入社、 ドイツへ陸上留学。 アトランタ ・ シドニー ・ アテネ ・ 北京と五輪4大会に連続出場。 北京では日本初の銅メダルを獲得。 メダリストとして、 ひとりの父親としてご講演いただきます。 ぜひ、 お越しください！

第20回 大阪YMCA
インターナショナル･チャリティーラン２０１４

日時 ： 10月13日(月 ・ 祝)
午前9時～開会式、 午後1時15分～閉会式
場所 ： 大阪市 長居公園外周 ・ 自由広場

第258回 大阪YMCA早天祈祷会

日時 ： 10月17日 （金） 午前7時30分～8時30分
場所 ： 大阪YMCA会館 10階チャペル
証し ： 箕浦 史郎 さん （大阪YMCAスタッフ）

とさぼりカーニバル２０１４

日時 ： 11月3日(月 ・ 祝) 午前11時～午後2時
午後2時～ 『抽選会』
場所 ： 大阪YMCA会館 （土佐堀）

ブース参加や当日のボランティアなど、 今年もご支援、 ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

読書の秋、 芸術の秋、 イベントの秋、 スポーツの秋。 食欲の秋…は年中(!?) あなたは何の秋をお過ごしですか？ それぞれの秋の楽しみを満喫することができますように。 高橋京子

編 集 後 記

さわやかな季節。 読書の秋で「舟を編む」を再読中。ハナから一気に引き込まれます。ハナからって？辞書をひきましょう。